

**ローションまみれ！！**  
**少年ヌルヌル授業**

ちょっと動こうとすれば滑ってしまう。

まともに歩けないほどニルニルになったコンクリートの床の上で、少年たちが全裸になって絡まり合っている。

「チュパァ・・・チュパチュパッ」

絡まり合うだけではない。

少年たちは互いの勃起したペニスを口で舐め合っているのだ。

ひたすら一心不乱にっ！！

「ンチュブパァ・・・ズプププ・・・」

滴り落ちる唾液は滑らかな透明のローションと混ざり、少年たちのペニスの先っぽからは我慢汁。

液という液が全部混ざり合う。

その中で彼らは必死で快楽を求め、絡まり合うのだ・・・。

きっかけはカナエ先生の一言だった。

「みんな、今日はこんなもの使ってみない??」

ニッコリ頬笑み、先生が右手で掴んで皆の前に差し出したのは、2リットルはある透明のペットボトルに入った透明の液だ。

先生が少し振って見せたが、チャポチャポと水のように音がしない。粘り気のある液体ということが分かった。

ここはマロニー〇学校。

生徒は皆、男子ばかりの男子〇学校だ。

カナエ先生が担任をしているこのクラスには全員で20人の男子がいる。この日は二人欠席で計18人だった。

裸になって遊ぶのが好きな元気な男子たちが多いこのクラスでは、定期的に近くの〇〇用プールへ出向き、泥をいっぱい入れて“泥んこ遊び”をしている。

みんな泥まみれになって、夢中ではしゃぎ楽しむのだ。

だけど、泥んこ遊びも過去にもう何度もやってきて、カナエ先生はち

よっぴり違う遊びを考えてみたくなった。

そこで、考案したのが“ローション遊び”。

ルールは簡単。

泥んこ遊びでいつも使用していた泥が、そっくりそのままネバネバのローションに変わるだけ。

細かなルールも何もない。

ただ、泥よりも肌触りが良くて、“イイ気持ち”になるんじゃないかなあという先生のアイデアだ。

「何い??それカナエ先生!!」

「これはね、ヌルヌルローションって言うのよ」

「ヌルヌルッ!!?」

「ローショオンッ・・・??」

「そうよ。“ローション”よ。本当はちょっぴりエッチな店に売ってるんだけど、今日はこれをプールで泥の代わりに使ってみるからたくさん必要なの。だから先生が専門の業者さんから頼んで買っておいなのよ」

カナエ先生は、手に持ったペットボトルの他になんと約100本もの2リットルペットボトルにローションを詰めて用意していた。

「これをいつもみんなで行ってるプールにコポコポ入れてね、それでみんな遊ぶのよっ」

突飛で大胆なカナエ先生のアイデア。

しかし。

ただ楽しめればいい、そんな風に思っていたカナエ先生だが・・・。

このアイデアがとんでもない方向へと向かう・・・。

「んっ!??どうしたのタカオくん」

ローション遊びを開始してすぐ、生徒の一人のタカオがプールの脇で

見守るカナエ先生のもとに小走りで駆け寄って来た。

「サトシとシュンペイがね、なんだかおちんちんが変になりそうだって言ってるんだ」

ローションお遊び開始わずか、複数人の男子たちに異変が起きたようなのだ。

「あらっ！！？」

先生が見ると・・・・もう事態は大変な状態に進行していた。

裸でローションまみれになって絡まり合う男子たちの大半のペニスが、ビィーーンと上を向いて勃起しているではないか！？

——体験版はここまでです——